

南城市立小学校

令和5年度スタートカリキュラム実践事例集



南城市幼児教育センター

目次

| | |
|--------|------|
| 船越小学校 | 1 P |
| 玉城小学校 | 3 P |
| 百名小学校 | 4 P |
| 知念小学校 | 5 P |
| 佐敷小学校 | 6 P |
| 馬天小学校 | 8 P |
| 大里南小学校 | 10 P |
| 大里北小学校 | 19 P |

1 単元名 (生活科)

わくわく ときどき しょうがっこう

2 実践の様子

☆のんびりタイム (登校後～8時30分)

○朝の片付け終わった後、好きなことをして過ごす。

・外遊び【カラータイル】

けん玉、なわとび、フラフープ、なわとび等

・室内遊び【教室、ワークスペース】

こま回し、カードゲーム、ぬり絵、お絵かき、折り紙等

○5年生と交流する。



☆こま回し

こうやって回すといいよ!



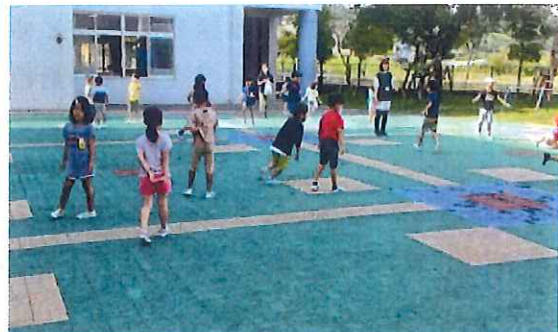
☆だるま落とし

ばらばらになったから、直そう。



☆なわとび

ジャンプ台を使ってやってみよう。



☆カラータイルでの活動

何をしてあそぼうかな?

☆なかよしタイム（1校時 生活科）

- 朝の会を行う。（朝の挨拶、出席確認）
- ダンス、ゲーム、読み聞かせを行う。
- サークルトークで、自己紹介をしたり、朝顔の観察をして発見したことを報告したりする。



☆朝の会



☆読み聞かせ

絵本に集中！



☆ダンス

動画を見ながらダンス。
今日は昆虫太極拳！

3 成果・課題

- 自由遊びを楽しみにし、登校をしぼる子が少なかった。
- 得意なことや好きなことを通して、出身園や学級関係なく交流する様子が見られた。
- サークルトークで友達の話を知ろうとする意識が芽生えた。
- スタートカリキュラム後の授業への気持ちへの切り替えが難しい児童がいる。
- 安全に活動するための場の設定や、見守りをする職員の動き等、不十分な点があった。

4 次年度に向けて（構想）

- 全職員に、スタートカリキュラムのねらいや内容を伝え、学校全体で対応できるようにする。
- 保護者への周知をしっかりと行う。
- 5年生だけではなく、他学年との交流を計画的に行いたい。
- マットやテーブル等、活動に必要な備品を購入し、充実した場の設定を行いたい。

1 単元名（生活科）

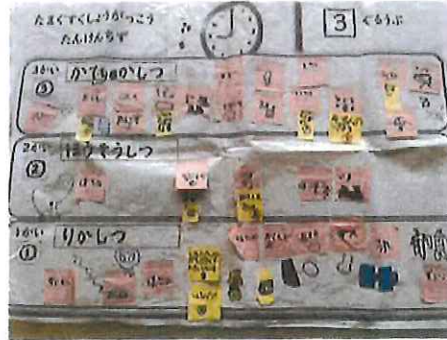
「わくわく どきどき しょうがっこう」

2 実践の様子

グループの話し合いで決定した部屋（教室）に、児童のみで探検へ行き、みつけたはてなを白地図に表す活動を行った。

前時の探検から戻ってくると、「いろんなお部屋のはてなを見つけられて楽しかった。」
「また行きたい。」と学習に意欲的な様子であった。

本時でのみつけたはてなを白地図にまとめる活動では、文字だけでなく絵を使う等して、ひとりひとりが自分なりの表現方法で楽しそうにかき表していた。付箋がなくなると教師に何度ももらいに来たり、グループの中で「マイクを見つけたよ!」「ぼくも!」「これは私がかいていい?」など思いを共有しながら対話したりと児童の主体的な姿がみられた。



3 成果・課題

○成果

- ・遊びの中での会話が、小学校でのグループ活動の話し合いで自分の思いや考えを伝えたり、相手の話を聞いたりすることにつながっていた。
- ・ぬりえや絵を描く遊びが、自分の考えを伝える手段として活用されていた。
- ・一人、グループ、学級全体と活動の仕方を工夫したり、周りの環境を園での過ごし方に近づけたりと児童が安心して学校生活を送る工夫をしていた。
- ・五十音表を提示する、活動をナンバリングする、付箋に絵を描いてお手本を見せる等、わかりやすくする工夫をした。
- ・子どもの声を拾って活動を進めることができた。

●課題

- ・子どもたちの「1階、2階、3階も全部はてなを書きたい。」「もっと（付箋にかく活動を）やりたい。」という思いを尊重し、活動時間を多く取り授業を進めていたが、自由に活動する児童が多くいたため、振り返りや次時への見通しを持つ時間を十分に取ることができず、次の活動への期待感を持たせることができなかった。

4 次年度に向けて（構想）

子どもの思いを尊重しつつ、静かに話を聞くことや時間を見て活動する大切さ等の基本的な学習規律を教えていきたい。

グループ活動では、児童が意見を述べたり対話したりする様子が多く見られ、主体的に活動していたことから、継続的に取り入れていきたいと感じた。

1 単元名（生活科） 「わくわく どきどき しょうがっこう」

2 実践の様子

- ①学校の中をクラスみんなで歩いて、どんな部屋があるかを確認した。
- ②2年生とペアになって、学校内の教室の説明をしてもらった。説明してもらった教室には、シールを貼った。



- ③自分たちで学校たんけんをして、百名小学校のひみつを付箋にまとめた。



3 成果・課題

成果

- ・2年生に学校のことを教えてもらうことによって、仲良く活動することができた。
- ・「学校のひみつを見つけよう」というめあてを持って、自分たちで学校たんけんをした。進んで質問をしたり、他の学年の授業を見て、「かっこいいな」と感じる子がいたり、主体的に学習する姿が見られた。

課題

- ・字を書くスピードが違うので、もっと書きたいけど時間がなくて書けなかったという子がいた。
- ・他の学年にも聞きたいことがあったようで、休み時間や朝の時間などにインタビューをする時間を作ってもよかったかなと思った。

4 次年度に向けて（構想）

- ・今年度は、校舎内のひみつ見つけをしたが、体育館や広場などのひみつ見つけをしたい。
- ・グループでタブレットを持たせて、写真を撮らせてみたい。

スタートカリキュラム事例

知念小学校

1. 単元名 (きれいにさいてね わたしのはな)

2. 実践の様子

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>①種をまこう ～つぼみができるまで</p> | <p>観察</p>  | <p>観察</p>  | |
| <p>②花がさいて ～種ができるまで</p> | <p>こすりだし</p>  | <p>いろみず</p>  | <p>おしぼな</p>  |
| <p>③単元が終わったあと 合科的・ 関連的授業実践 (2・3学期)</p> | <p>算数「10よりおおきいかず」</p>  | <p>生活：「もうすぐ2年生」</p> <p>お招き会用の プレゼント</p>  | |

3. 成果・課題

- あさがおを育てることにより、植物にも生命があり大切にしようとする心が育まれた。
- ひらがなを書けない児童も、あさがおの花が咲いた嬉しさを伝えたくて、文字を書こうとしていた。
- 雨・風が強い日に避難させずそのままにしたため、枯れてしまったり、元気がなくなったりしたのがあったので天気の確認(児童と一緒に)をして育てるようになる必要がある。
- あさがおの育成方法は分かったと思うが、世話をしたことや、興味を持ったことに対しての価値付けをする必要がある。

4. 次年度に向けて(構想)

- ・学校探検は、1回目は全体で行き、2回目からはペアやグループでさせるようにする。(安全第一)
- ・植物の栽培は、4月中に行う。
- ・タブレットを活用した活動を取り入れる。

1 単元名 (生活科)

わくわく どきどき しょうがっこう

2 実践の様子

(1) こうていをさんぽしよう

① 飼育小屋、教材園の周辺を探検



オオバコの葉っぱで草相撲草相撲

草相撲しよう！！どっちが強いかな。

太い茎を重ねたり、本数を増やしたり、自分たちで勝つための方法を考えて対戦。

② ビオトープをたんけん

どんな生き物がいるのかな。
あっ、魚がいるよ。
アメンボもいるね。



(2) がっこうのなかをあるこう

① 学校の1・2・3階を探検しよう。

【1階】



自分たちの教室と違うところを写真に撮る



見つけたものをみんなに共有

【2階】



教室に壁がないね。



【3階】

チャレンジ教室でインタビュー

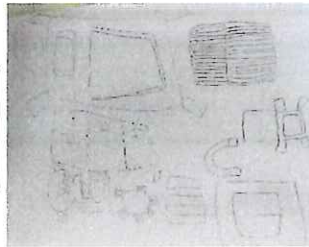


3階の教室は天井に穴があいていました。
※吹き抜けの窓です。

(3) なにをかんじたかな

探検後

見つけたものを
絵に表現する。



単元のまとめ

学校探検を振り返り
気づいたことを絵や
文で表現する



3 成果・課題

(1) 成果

- ・学校をグループで探検したことで、自分たちの教室との違いを友達と考えながら気づくことができた。
- ・全体で共有したことで、「もっと見に行きたい」「確認してきたい」という声があり、関心を高めることができた。

(2)

- ・気になったことや疑問に思ったことを自分たちで解決する時間が取れなかった。共有の場でどうしてそこにあるのか、問いかけをして子どもたちの考えから理由づけをしたが、もっとインタビューを行うなどそれぞれで解決していく活動が不十分であった。

4 次年度に向けて（構想）

今年度に引き続きタブレットを活用して、1年生の教室と違うところをグループで写真に撮ってくる。その中で見つけたものを共有し、なぜその場所にその物があつたのか予想し、自分たちでインタビューする活動を取り入れていきたい。

1 単元名 (生活科)

わくわくどきどきしょうがっこう

2 実践の様子

①学級全員でたんけん。

※「他学年の教室階に一人で行くのは心配」の声が多かったため、担任と一緒にいくことになった。



どんな勉強しているのか、興味津々。
「黒板にいっぱい字を書いているすごい」

兄弟がいる子
「〇〇兄ちゃん、一生懸命書いていた！」

②児童だけでたんけん。

※教室配置図を持ちながら、友だちと興味のある所へ。



高学年の教室前で
「6年1組のとなりが2組だね。先生の名前、漢字で読めないね。休み時間に聞いてみよう！」

高学年の教室前 (英語の授業を見て)
「なんの勉強かな？」
「ゲームして楽しそうだよ。」

③休み時間に自由にたんけん

※他学年の子や先生方との交流ができるように、休み時間に自由に探検。



先生方の名前調べ
「先生の名前はなんですか？」
(習ったばかりのひらがなを書いていた。)

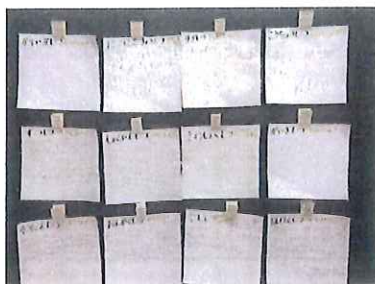
3年生のお兄ちゃんにインタビュー。
「お兄ちゃんの先生の名前、なんて言うの？」
「かきかた教えて！」

休み時間になると
「たんけんに行ってきまーす！」と自主的に活動していた。

①探検したことを発表

1 回目：タブレットで写真を撮ってきて、見つけたものを見せながら発表。（国語科「みんなにはなそう」と関連）

2 回目：ひらがなの学習を一通り終えた時点で、探検で見つけたものを書いて発表。（2人1組）



「じんたいもけいの じって、どんなだった？」
「しに てんてん をつけるんだよ！」
「こんなだった？」
「あってる！」
と会話しながら、国語の学習で習得したひらがなを一生懸命書いていた。

3 成果・課題

○1回目の探検を全員で行うことで、次回から自分たちだけでも安心して活動できた。

○授業中に誰かにインタビューすることは難しいので、休み時間に探検することで、関わられる人が多くなり、交流がスムーズだった。

○どの学年の児童や先生方が優しく対応してくれたので、自主的に探検に行く活動ができた。

○国語科で学習したことを生かすことが出来て、勉強したことが使える実感を持てた。

○こども達に聞いて相談して決めていくことが、スムーズで効果的な学習につながると感じた。

●安全に気をつけて行動するように指導はしているが、児童だけでの活動は見守りできる職員がいつもいるわけではないので、とても心配である。

●校舎建築中のため、校庭・運動場・遊具などの外の施設がほとんどない状態で、外遊び（外の探検）等がなかなかできなかった。

4 次年度に向けて（構想）

①生活科について

今年度の取り組みに加えて、近くの公園を活用して校庭探検（外遊び等）を行う。

②なかよしタイム・わくわくタイム

4月の3週目あたりから、2時間あるなかよしタイムを少しずつ短くして、わくわくタイム（生活科）を取り入れていき、外での活動を増やす。

1 単元名(生活科)

忍者になってわくわく学校探検 内容(1)学校と生活

2 単元について

①単元目標

学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

②単元の流れ

| 単元(時数) | メモ |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 校庭を散歩しよう ①② | |
| 2. 忍者グッズをつくろう ③④ | ☆のんびりタイム、休み時間にも製作 |
| 3. どうやって探検するか話し合おう ⑤ | |
| 4. 忍者になって学校探検をしよう ⑥⑦ ⑧⑨ ⑩ ⑪ ⑫ | ☆のんびりタイム、休み時間にも探検 |
| 5. 完成した地図をどうするか話し合おう ⑬ | |
| 6. 大きな地図をつくろう ⑭⑮ | |
| 7. 大里北小について紹介しよう ⑯ | |
| 8. 単元をまとめよう ⑰ | |

2 実践の様子

〈導入〉

入学初日、子どもたちから、「外でいつ遊べるの?」と声があがりました。「外で遊びたい!」という思いから、さっそく運動場へ遊びに行きました。そこから、学校の外のことを「校庭」ということを確認して、運動場以外の学校の外の場所(校庭)を散歩するのはどうか、提案しました。子どもたちも「校庭散歩に行きたい!」と校庭散歩につなげました。

①校庭を散歩中に白地図を発見!

散歩に出発する前に、「校庭にはどんなものがあるのか、たくさん見つけようね!」と子どもたちと確認しました。学校に咲いている花や植物を見て、「何の花かな?」「この花、幼稚園にもあるよ～」と気づいたり、運動場にあるポイントに「これなんだろう?」と疑問を持ったりする姿がありました。また、ビオトープや観察の森を散歩して、校庭には楽しい場所があること、いろいろな生きものがいることを知った子どもたちです。その散歩中に、あるものを発見!(白地図を校長先生にお願いして、事前に観察の森に落としてもらっていました。)



観察の森で何かを発見

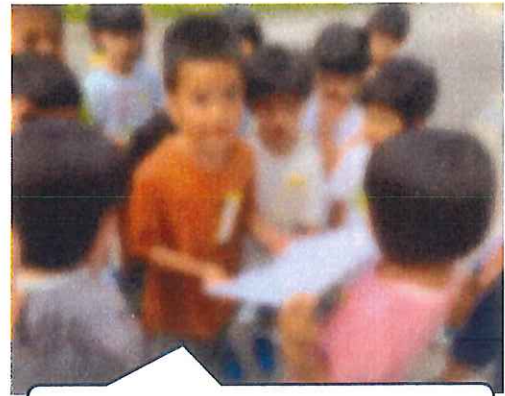
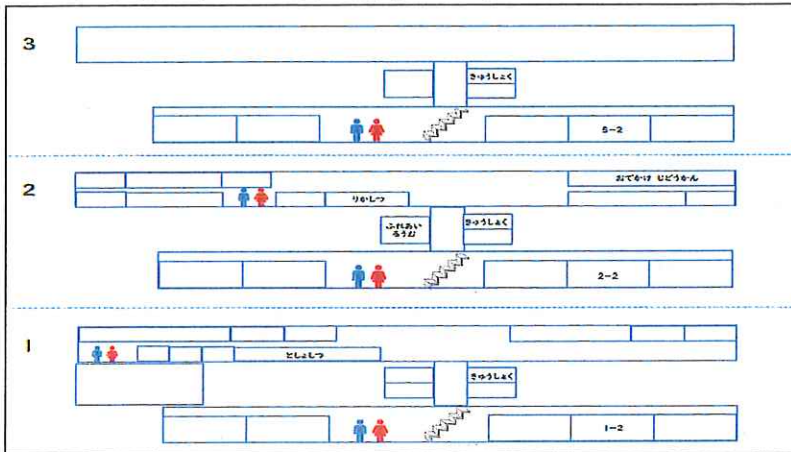


ビオトープ



観察の森

そこから、「みんな～!何か発見したよ!」「これなんだろうね?」「何かの地図じゃない?」など対話が見られました。



これ、学校の地図だと思うよ・・・!

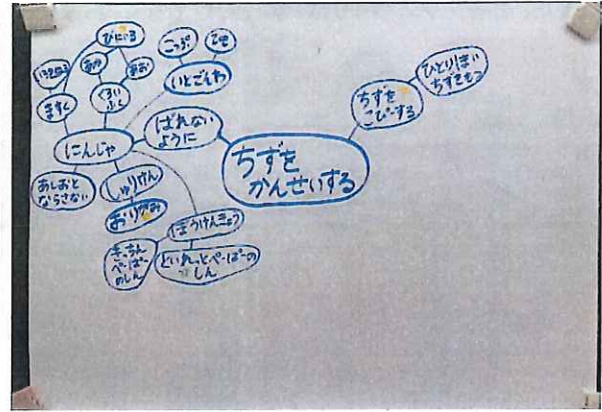
②作戦会議!

発見した地図が、学校の地図だと予想した子どもたち。「この地図を完成させたい!」と作戦会議です。

☆「地図が1枚しかないから、先生みんなの分(地図)をコピーしてね」

☆「ばれないようにするには、忍者になったらいいんじゃない?」

☆忍者になるには、黒い服が必要!手裏剣も必要だよ!そのためには・・・折り紙が必要!他には・・・?」



③忍者グッズ製作スタート

作戦会議の後、忍者グッズに必要なものを準備しました。すぐに準備できる黒のビニール袋、折り紙を用意し、カラービニールは、業者さんに注文しました。製作前から、登校したら「忍者の衣装づくりたい!」「手裏剣づくりたい!」とわくわくな子どもたちは、カラービニールが届くまでの間にも、のんびりタイムや休み時間に今ある材料(黒のビニール袋)とお家から持ってきた材料で忍者グッズをつくりはじめました。カラービニールが届いたら、本格的に「忍者グッズづくり」を授業の時間で取り組みました。



黒のビニール袋で忍者の服を製作



忍者の服



折り紙で手裏剣づくり



お家から材料持参

それぞれ思い思いの忍者グッズの製作を楽しんでいました。お家から必要な材料(トイレtpペーパーの芯、ラップの芯、紙コップ、折り紙、)を集めて持ってきてくれる子もいました。



トイレtpペーパーの芯で望遠鏡を製作



好きな色のカラービニールを選んで、忍者の衣装づくり♪



ヒモがピンと張っているときは、よく聞こえるけど、ダランとしているときは聞こえないよ!



つくりながら、「忍者の服にポケットもつくったよ」「はちまきがあつたら忍者っぽいよ」とどんどんアレンジも見られ、オリジナルの衣装をそれぞれ楽しみながら製作していました。

忍者の服のつくり方がわからなかったり、服が破れてしまったり、失敗したら、友達同士で協力しながら教え合ったり、修繕したりする姿も見られました。

また、忍者グッズづくりは、学校だけでなく、お家でつくって持ってくる子もいました。



ポケットもつけたよ!



友達につくり方教えてもらったよ!



はちまきもつくったよ!



素敵な忍者の服完成!



ビニールが破れてしまったよ!



忍者の服を入れる袋が必要!

忍者の服を製作していると、ビニールを間違えて切ってしまう、「失敗しちゃった〜!」と言いにきた子がいました。ここをチャンスと捉え、「どうしたかったの?」「これからどうすればいいと思う?」と尋ねると、「テープでくっつけたら、直せるかも〜」と修繕する様子が見られました。間違ったから失敗で終わるのではなく、失敗からどうしようか引き出すことで、思考し、新たな方法を見つけ、取り組むことにつながりました。

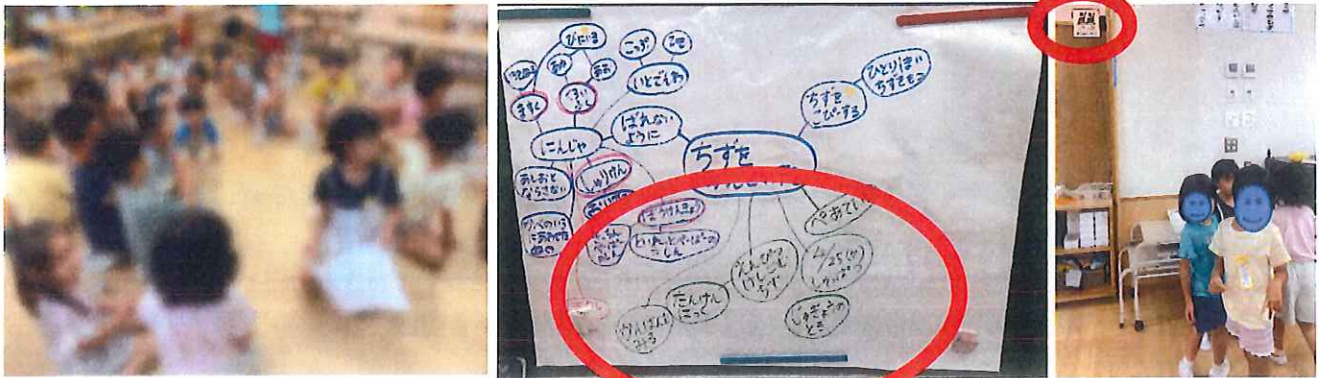
また、「忍者の服を入れるビニールが必要!」「ビニールに、ちゃんと名前を書いていたら、誰のかわかるよ」と提案してくれました。その提案のおかげで、落ちていても誰のものなのかわかりました。

忍者グッズ製作を通して、忍者になるために必要なものは何かを考え、製作に必要なものを自分で考えて用意し、工夫しながら、用具を使い製作でき、自分の考えだけでなく、友達の考えも取り入れながら製作するなど、幼児教育の成果がたくさん見られました。

④作戦会議2

忍者の衣装が完成したら、どうやって地図を完成させるか作戦会議を行いました。「2年生～6年生にバレないようにいくために、授業中に静かにいこう!」「鉛筆、消しゴム、地図を持っていこう!」「いっぱい持って大変だね!」など話が出ました。このタイミングで「探検バック」を紹介しました(子どもたちが探検バックの必要性を感じるチャンスだと思いました)。子どもたちは、「おお～!これいいね!」と探検バックのよさを実感していました。

また、「どの教室が何のお部屋かどうかやったらわかるのかな」と担任が尋ねてみると、「看板を見たらわかるよ～!」と各教室の上に〇年〇組と表示されていることに気づき、その表示を見て、地図を完成させることを確認しました。



⑤忍者になってわくわく学校探検スタート!

忍者になってわくわく学校探検を始める前に、2年生担任から、「学校探検はどのようにしますか?」と声がありました。去年は、2年生と一緒に学校探検を行っていたこともあり、1年担任に相談してくれたのです。今回、忍者になって、学校を探検することを伝え、2年生には、ポスターの作成をお願いしてみました。1年生が、それぞれ学校探検をして、この部屋が何というお部屋なのか(部屋の名前)、どのようなお部屋なのか(どんな時に使うか)、また、その部屋の特徴が描かれた絵があると、1年生が学校を知ることにつながり、とても探検が楽しくなるなど感じました。2年担任、2年生は快く引き受けてくださり、1年生が自分たちで探検に行く前までに、各教室のポスターを準備してくれました。2年生と連携をとっていたおかげで、充実した学校探検を行うことにつながりました。



バレないように!

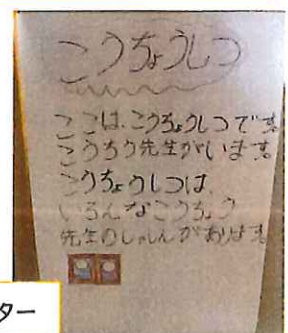
看板あったよ～!

「おんがくしつ」って書いてる!

ポスターを見て地図に記入

そして、忍者になっての学校探検がスタートしました。授業中のお兄ちゃんお姉ちゃんにバレないように、隠れながら移動していました。また、看板を発見したけど、漢字で書かれていて読めないと困っていたら・・・!「おんがくしつってかいてあるよ～!」と近くにポスターがあることに気づきました。このポスターは、各教室の部屋の名前と、どんな部屋かの説明が書かれていました。そのポスターは、2年生が1年生のために準備してくれたものです!2年生の協力のおかげで、お部屋の名前が分かり、さらにどんなお部屋かも学ぶことができた1年生です。さっそく、地図に「おんがくしつ」と記入していました。

2年生が作成したポスター



忍者になって学校探検は、ペアやグループで行いました。学校の中のいろいろな場所へ行くことができるので、子どもたちのわくわく・ドキドキがとまりません!この日、学校には、かわいい忍者キッズがウロチョロしながら地図を完成させるために歩き回っています。職員にも周知し、子どもたちを見守ってもらいました。



奥の部屋は〇年〇組かな?→調べに行こう!(忍者の服を脱いで)→3年1組だったよ~!

奥の教室が〇年〇組かわからないので、調べに行くために、忍者の服を脱いで行きました!どうして脱いだか尋ねてみると、「ビニール袋のガサゴソの音でバレてしまうから・・・」と話していました。



3階の踊り場から、「僕たちの教室はどこかな!？」



ペアで好きな場所から探検に出発



この扉は鍵が閉まっているけどなんでかな?

プールの場所だと気づいたのは、2年生が作成してくれたポスターの絵を見てからでした。地図に、「ぷうる」と書こうとしましたが、「平仮名のふ」が難しくて、「絵で描いてもいい?」と担任に聞いていました。「絵で描くこともいい方法だね~!」と伝えると、自分なりのプールの絵を地図に描いていました。



何のお部屋かな?



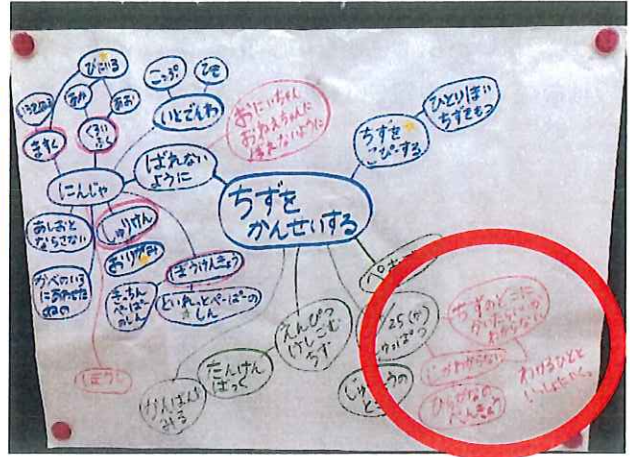
あ!この部屋、プールだ!



プールの絵を記入!

⑥作戦会議3

忍者になって学校探検から戻ってきた子どもたち。地図をまだ完成できていないことから、新たに作戦会議が始まりました。



「何か困っていることはない?」と尋ねてみると、「字が読めなくて、何のお部屋かわからない!」と声があがりました。そこから、「平仮名の勉強をしたいね!」と子どもたち。しかし、「平仮名を勉強してから探検に行ったら、時間がかかる」という声もあり、その結果、平仮名の学習を始めながら、字が読める友達とペアになって、繰り返し探検に行くことになりました。

⑦地図を完成するために、学校探検を繰り返す

一緒に探検するペアを変えて、字が読める友達と一緒にいたり、休み時間に探検に出かけたりと、地図を完成するために何度も探検に出かけました!



地図から、どこの場所か探す!



ポスターを見る!



友達と一緒に確認しながら♪

繰り返し探検を行う中で、「PTA 室」に人を発見!「ここは何のお部屋ですか?」と聞いていました。英語で書かれていて読めなかったけど、「ピーティーエーしつっていうんだ〜!」と知り、地図には英語で「PTA」と記載していました。



何のお部屋ですか?



「P・T・Aしつ」って〜!



英語で書いたよ〜!

☆ひらがなの学習へ・・・!

学校探検をして、「ひらがなが読めるようになりたい」から、文字の学習がスタートしました。「ぷうるってかきたい!」という思いから、ひらがなの学習は「ふ」から始まりました。教科書「つ・く・し」の簡単な文字やあいうえおの順からではなく、いきなり難しい(?)「ふ」からです!そこから、子どもたちが書きたい文字から取り組んでいきました。



「ぷうる」ってかけるようになりたい!



「ふ」見つけたよ～!

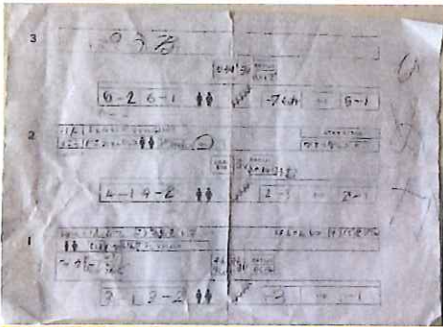
⑧作戦会議4



北小の大きい地図をつくろう!→1階、2階、3階チームに分かれるのは?



大きな地図をつくろう!



完成した地図を見ながら、大きい地図をどうつくるか作戦会議中・・・!

1階、2階、3階に分かれて、大きな地図をつくることに話しがまとまりました。地図の中には、見つけた教室や出会った先生、その部屋のことなどを書いていくことを確認し、各チームに分かれてどんな地図をつくるか話し合いがスタート!「この部屋もあったね!」「ここは、どんなお部屋だっけ・・・?」「ここには、何があったっけ・・・?」完成した地図を見ながら、これまでの探検を思い出し、振り返る様子が見られました。

⑨大里北小の大きな地図をつくろう!



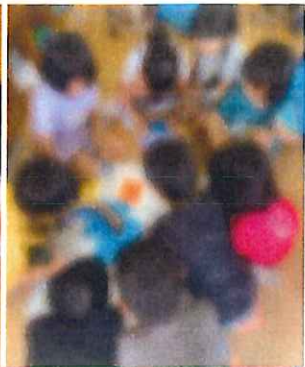
役割分担して作成!



もう1度、確かめに学校探検!



各チーム協力して、大きな地図を作成中・・・!

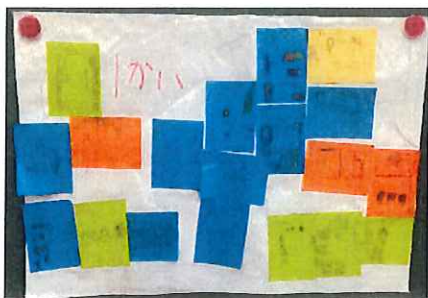


今回、「大きな地図をつくる」ということで、担任はトリノコ用紙と画用紙のカードを数枚準備しました。それぞれのチームで話し合いをし、役割分担をしたり、他のチームがどのように地図をつくっているか見たりしながら、各階の地図を作成しました。

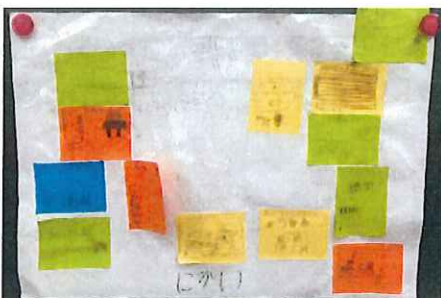
2階チームは、白い紙に地図をつくる人と、カードに発見した教室を書く人に役割分担をして、取り組む様子が見られました。そして、もう1度探検に行って、場所を確認していました。

楽しそうに話しをしながら、「〇〇の教室かくね」と仲間に伝えたり、「この部屋のこと忘れていた～」と書き直したり、思考しながら地図を作成していました。

⑩完成した地図の発表会♪



1階チーム



2階チーム



3階チーム



「1階には、保健室があります。保健室は、ケガした時に行くお部屋です。」

「2階には、理科室があります。実験をするお部屋です。」

「3階には、プールがあります。プールはとても気持ちいいです。」

という感じで、各階の発表を行いました。

⑪単元のまとめ



学校探検のドキュメンテーションで、これまでの学習を振り返っていきました。

「みんなで大きな地図をつくるのが楽しかった」「最初はお部屋がわからなかったけど、学校探検をして、いろんなお部屋がわかった」など、これまでの学習を振り返ることができました。

3 学年間での連携

- ・単元構想は、学年全体で話し合いをしたが、各クラスがどのように探検するかは、子どもとの話し合いの中で決めることとしました。その結果、2組は「忍者」、3組は「探検隊」、1組は「忍者・探検隊」と両方の取り組みとなりました。
- ・1組では、校長室に入って校長先生から秘密の金庫を見せてもらっていました。大きな扉を開けたら、大きな頑丈な金庫があったので、驚いた様子でした。
- ・2組は、どのように探検していきたいか尋ねると、「バレないように探検する」ところから、忍者になって探検するということになりました。
- ・3組は、地図を見つけて、「探検だー！冒険だー！」というところから、「3組は探検隊だね！」そのために何が必要か話し、探検グッズの作成になりました。
- ・学年では、学校探検の取り組みを認しながら一緒に進めていたけれど、子ども達の「やりたい」思いが違うので、進め方はそれぞれの学級で異なりました。
- ・2組は、今年度初めてのウェビングマップやドキュメンテーションを子ども達と一緒に作成しながら、取り組んでいきました。ウェビングマップは、子どもたちとの作戦会議で使用しました。どのように探検したいのか、探検しながら困り感が出てきたときに、みんなで共通理解を図っていきました。また、ウェビングマップ、ドキュメンテーションを単元のまとめの際に、振り返りで使用することで、写真をみながら、これまでの流れを思い出し振り返りました。

4 成果・課題

- 登校してのんびりタイムから忍者グッズをつくったり、休み時間に校内を探検しに出かけたりと、主体的に取り組む子ども達の姿が見られた。
- 白地図を完成するために、「部屋の名前」に注目し、部屋の中にある物や何に使うお部屋なのかをより深めることにつながらなかった。
- 他学年とのスタカリについての共通理解を図ること。他学年児童との関わり方。
- 単元目標にある学校生活を支えている「人々」、様々な「人」は、今回の実践では、重視することができなかった。

5 次年度に向けて(構想)

- ・学校の中のお気に入りの場所を見つけよう！
- ・その部屋(教室)の秘密を紹介しよう！
- ・単元目標の中にある学校生活を支えている「人々」、様々な「人」との関わりについて重視していきたい。

謝辞

本実践を進めるにあたり、2学年の先生方には各教室のポスター作成に取り組んでもらい、学校探検のサポートをしてもらいました。また、本校職員には、1年生の学校探検を暖かく見守ってもらったことで、子どもたちのわくわくや楽しい思いを大事に学校探検を進めていくことができました。心から感謝しています。

付記

本実践事例の執筆にあたっては、平成2年の会(金城愛梨、神里友貴美、名渡山よし乃、宮城利佳子)で検討を行った。本研究は、公益財団法人 生存科学研究所 自主研究(若手研究者)事業として助成を受けたものである。

1. 単元名 (生活科)

大単元：『わくわく どきどき しょうがっこう』

小単元：「がっこうの なかを あるこう」「なにを かんじたかな」「じぶんたちで いってみよう」

2. 実践の様子 (令和5年5月16日 保幼小公開授業より)

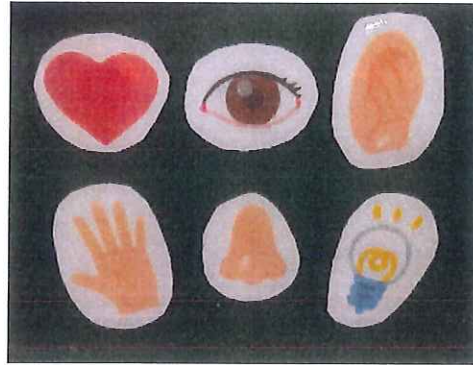
○めあての確認：がっこうを あるいて

みつけたことを はなそう

○やくそく確認：ろうかは はさみ あいさつ

○合言葉で出発

たんけんだ たんけんだ
みんなで かいけつ
ならんで いこう
あるいて いこう
えいえいおー



五感カード

○探検 (グループで探検します)



どんなことを
する お部屋
ですか？



先生たちの机は
大きいね。



校長先生のお
部屋に入って
みたいな。

○探検して見つけたことや 感じたことを話し合う



1年生なりに
絵や言葉でま
とめました。



3. 成果・課題

【成果】

- ・ 五感カードを使用したり問いかけを工夫したりすることで、児童から学校の施設だけでなく、上級生の授業を見て「かっこいいな。」「まねしたいな。」等の心情面も聞かれた。
- ・ 児童が自分たちで探検することで、主体的に学習に取り組むことができた。
- ・ 学校にいる先生方と関わろうとする姿が見られた。
- ・ 学校に対して、楽しさや安心感を持たせることができた。

【課題】

- ・ 他学年との交流を計画していきたい。

4. 次年度に向けて（構想）

- ・ 南城市作成のリーフレットを基本とし、生活科を中心とした単元構成を計画し 実践していきたい。

